

平成 19 年度京丹後市当初予算  
『行財政改革を進めつつ、<選択と集中>による  
地域力・市民力の開拓支援型予算』  
～ 丹後の底力の再生 ～

平成 19 年 2 月 23 日  
京丹後市役所

『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』を将来像として掲げる京丹後市の平成 19 年度予算につきましては、京丹後市行財政改革大綱に基づく「行財政改革推進計画」（集中改革プラン）並びに「第 1 次京丹後市総合計画」との整合を図りながら、本格的なまちづくりをすすめるための予算としています。

国が策定しました平成 19 年度の地方財政計画におきましては、国の取り組みに合わせて引き続き人件費、投資的経費、一般行政経費の各分野の地方歳出を厳しく抑制する一方、地方公共団体間で財政力に格差がある現状を踏まえ、その格差の縮小を目指し「頑張る地方応援プログラム」を創設し、前向きに取り組む自治体に対し地方交付税等の新たな支援措置も講じられることとなっております。しかしながら、国の地方交付税総額は、前年比 4.4%減、臨時財政対策債についても、前年比 9.5%減となっているなど、本市の歳入の基幹をなす地方交付税等は減少傾向となっているため、財源状況は、一層厳しいものになるものと想定しています。

こうした中で、合併後 3 年間が経過し、京丹後市としての一体感が図られつつあり、一定の財政効果が現れているところでありますが、国税からの税源移譲分が増加となるものの実質的な市税が伸び悩む中、既に策定しました行財政改革推進計画及びその指針に基づき、また、市総合計画とも整合を図りながら、予算を編成したところです。内容的には、市民病院への支援拡大、総合計画に基づく事業、先延ばしできない情報化の地域格差を解消するブロードバンドネットワーク整備事業などの懸案事業について積極的に予算計上する一方で、同時に、各種補助金、特別職・一般職の人件費を抑制するための取り組みも積極的に行って極力削減に努め、概ね行財政改革推進計画に準拠しつつ、<選択と集中>による必要最小限の予算規模に努めています。

また、歳入では、地方交付税を最大限見込むとともに、財政調整基金などの基金繰入金、市債などを後年度の財政運営を考慮しながらも最大限に計上し、財源を確保しています。

このように財政状況が厳しいからこそ、「市民との協働と共創のまちづくり」、「地域資源を活かしたまちづくり」並びに「効率的な行政経営」の各種施策を積極的に取り組み、夢が持て「住み続けたいふるさと京丹後市」を目指したまちづくりを推進したいと

考えています。

なお、開かれた透明性の高い市政を引き続き推進し、もって市民の市政に対する理解度を深めていただくことを願い、市民総監視の中での予算編成に資するため、平成19年度当初予算編成におきましても、予算編成過程の公開、地域要望に対する第1次査定状況を公開し予算措置状況を再度確認していただく取り組みも引き続き実施しています。

結果、京丹後市の平成19年度一般会計予算としましては、

288億3,000万円    3億8,000万円増(1.3%)  
18年度当初予算額284億5,000万円

**『行財政改革を進めつつ、<選択と集中>による  
地域力・市民力の開拓支援型予算』  
～ 丹後の底力の再生 ～**

としています。

なお、一般会計の市債残高は、平成19年度末見込みでは433億7,214万円と見込んでおり、平成18年度市債残高見込みと比較し、11億566万円(2.5%)となり、京丹後市発足以来4年連続の減少となります。

また、京丹後市には、一般会計の他に14種類の特別会計と水道事業、病院事業という2つの企業会計を設置しております。

特別会計の予算総額は、242億8,960万円で前年度236億9,050万円と比べ5億9,910万円、2.5%の増額となりました。これは、平成18年10月より創設された保険財政共同安定化事業拠出金の追加に伴う国民健康保険事業特別会計及び網野浄化センター建設に着手する公共下水道事業特別会計で大きく増加したことによるものです。また、企業会計の予算総額は、76億6,918万円で前年度75億2,225万円に比べ1億4,693万円、2.0%の増額となっています。

平成19年度の主な事業内容ですが、『京丹後市総合計画』に基づく6つの基本方針

**ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市**  
**暮らしの中でいのちが輝く 環境循環都市**  
**生きる喜びを共有できる 健やか安心都市**  
**次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市**  
**共に築き、結び合う パートナーシップ都市**  
**災害に強く快適で暮らしやすい うるおい安全都市**

の区分により紹介させていただきます。

一般会計での主な事業は次のとおりです。〔凡例： = 新規、 = 拡大等、 = 継続〕

## 【 ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市 】

### < 交流の促進 >

「体験型旅行協議会(仮称)」設立〔新規〕【総務費】 88万円

市内各産業をそれぞれ体験・交流型の産業として育成・活用し、市内全体を観光・交流の拠点とするための推進母体となる協議会を設立する。

「農村コミュニティ再生・活性化事業」補助金〔新規〕【農林水産業費】 175万円

都市圏の住民を当市に受入れ、農業はじめ市内各産業の現場で体験・交流を行う活動（NPO法人日本都市農村交流ネットワーク）を支援するため補助金を交付する。

（平成19～21年度の3ヵ年事業）

「総合魅力・情報発信」〔新規〕【総務費】 140万円

首都圏でのPRイベントや関西圏大手デパートを利用し、京丹後市の魅力や情報を積極的に発信する。

「京丹後市共創市民制度(仮称)」創設〔新規〕【総務費】 110万円

都市圏等に在住する京丹後市出身者・共鳴者の皆様を「京丹後市共創市民(仮称)」として、まちづくりパートナーとなっただく制度を創設する。

### < 農林業の振興 >

「環境保全型農業資材普及支援」事業補助金〔新規〕【農林水産業費】 160万円  
環境に配慮した営農を推進するため、生分解性マルチフィルムの購入経費の一部を助成する。（補助率1/3）

「土づくり促進」事業補助金〔継続〕【農林水産業費】 340万円

堆肥、カキガラ、カニガラ及び炭などの有機資材を購入する農業者等に補助金を交付し、有機資材での土づくりを推進する。

- 「猪・鹿肉有効活用」研究開発〔新規〕【農林水産業費】 150万円  
 有害鳥獣である猪や鹿を有効活用し、地域活性化に結びつけるための調査・研究を実施する。
- 「鳥獣害防止里山整備」経費〔新規〕【農林水産業費】 63万円  
 鳥獣による被害防止を推進するため、里山の間伐・全伐・雑草木除去等を促進させる。
- 「狩猟免許取得奨励」補助金〔新規〕【農林水産業費】 17万円  
 被害が拡大傾向となっている有害鳥獣の駆除を促進させるため、狩猟免許取得経費の一部を補助し、免許取得者の増加を図る。
- 「農地・水・環境保全対策支援」事業負担金〔拡大〕【農林水産業費】 1,838万円  
 農家以外の地域の住民と一緒に、地域全体で農地・農業用施設等の資源や景観・生態系の保全等も含めた環境保全を行う活動を支援し、地域共同の取組みと、環境体験学習の実施なども含めた農村地域の活性化及び持続的な資源保全を図る。(65集落での取り組み)
- 「農村振興総合整備」事業〔拡大〕【農林水産業費】 4億1,207万円  
 大宮町河辺西部地区において農業生産基盤と生活環境基盤を一体的に整備し、ゆとりと安らぎのある居住環境の改善を図る。  
 (H16~21年度、総事業費7億3,000万円)
- 「アグリビジネススクール」事業〔継続〕【農林水産業費】 80万円  
 経営感覚を持った農業者を育成するとともに、農業と加工・流通・販売・観光・交流等を組み合わせた高付加価値型ビジネスを実践・牽引する人材の育成を図る。(平成18年度からの継続)
- 「新農産物流通体系構築」プロジェクト推進経費〔継続〕【農林水産業費】 400万円  
 既存の流通体系によらない新しい地域農産物の流通体系等を構築する。  
 (平成18~19年度の2カ年事業)

< 漁業・海業の振興 >

- 「海業体験」事業〔新規〕【農林水産業費】 24万円  
海業体験モデル事業として、定置網漁業体験事業、採貝採藻体験事業を実施する。
- 「大型クラゲ対策」事業補助金〔拡大〕【農林水産業費】 213万円  
大型クラゲ対策用改良漁具等を購入した漁業生産組合等に対して経費の一部を助成する。(補助率 1/6)

< 商工業の振興 >

- 「産学連携推進コーディネート」事業〔新規〕【商工費】 203万円  
京都工芸繊維大学と連携し、「起業アイデアコンペティション」、「産学官連携フォーラム」等を開催し、また産学連携のコーディネートをを行い、市内産業の振興を図る。
- 「青年会議所近畿地区会員大会」開催支援〔新規〕【総務費】 600万円  
青年会議所近畿地区会員大会が京丹後市内で実施され、若手経済人が多く集うことから開催に係る支援を行うとともに、京丹後市の魅力をPRする。(平成19年7月開催)
- 「商工業活性化交流」事業〔新規〕【商工費】 111万円  
山陰から北陸までの日本海側の商工会等とシンポジウムと交流の取り組みを行うとともに、大阪丹後人会との交流を通して企業誘致、販路開拓を推進し、産業の振興を図る。
- 「行政版・知的資産経営報告書」作成〔新規〕【総務費】 36万円  
京都工芸繊維大学と連携し、戦略的な行政経営のため各分野の知的資産を探り出し、その活用を図る報告書を作成する。
- 「丹後ファッションウィーク」実行委員会補助金〔継続〕【商工費】 450万円  
丹後ちりめん生地の洋装化をはじめ多角的な展開を支援するため、ちりめん生地の高付加価値化試作商品の開発・展示会等により丹後から全国へ多彩に発信する。

「機械金属産業総合振興事業」補助金〔継続〕【商工費】 250万円  
 中小企業でのものづくりメッカである東大阪等他地域との交流促進による販路開拓事業及び機械金属業の新商品開発に対して補助金を交付し支援する。

<観光の振興>

市民ぐるみの「観光ネットワーク」推進〔新規〕【商工費】 70万円  
 市民観光ガイド研修会の実施、施設の案内及び施設利用促進のための地図や割引券の作成など市民ぐるみの観光振興、もてなしの地域づくりの取り組みを支援する。(丹後観光協会連絡協議会が主体)

「公有施設戦略的利活用」調査〔新規〕【総務費】 45万円  
 遊休化した公有施設を「ものづくりの場」、「文化交流拠点」として利活用を図るための調査・研究を実施する。

「薬草活用」調査〔新規〕【総務費】 103万円  
 薬草の栽培実証研究、薬草を活用した観光産業・織物産業との連携を図るとともに、観光客へのPRのため「よし野の里薬草園」を再整備する。

「丹後王国情報発信複合施設整備」研究〔新規〕【総務費】 11万円  
 丹後王国観光情報館(仮称)の整備に向け、歴史・文化継承、産業・観光振興、高度情報化の拠点など複合施設として、PFI手法の導入を含めた調査・研究を実施する。

「観光の魅力づくり推進」事業補助金〔継続〕【商工費】 1,000万円  
 豊富な観光資源を活かした個性ある観光地づくりを推進するため、観光の魅力づくりに寄与する事業について観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し支援する。(補助対象：2件)

- 〔浜詰夕日ヶ浦温泉温泉源補強事業
- 〔街路灯設置事業(久美浜町湊地域)

「温泉施設活性化」検討経費〔継続〕【商工費】 336万円  
 健康素材(温泉・食事・運動・自然環境)を組み合わせ作成した健康づくりプログラムに基づき「健康づくり大学実践講座」を実施し、温泉等の観光振興を図る。

<京丹後ブランドの販売戦略>

「京丹後ブランドチャレンジショップ創設」運営事業補助金  
〔新規〕【商工費】 1,600万円

京都市内に情報発信拠点施設を開設し、観光PRと京丹後ブランド製品の紹介、販路拡大と販売促進等を推進する取り組みを支援する。

丹後地域地場産業振興センター、商工会、観光協会等の市全体としての取り組み

「京丹後ブランド品販売促進支援」事業補助金〔新規〕【商工費】 298万円

都市部における京丹後ブランド製品の紹介、販売促進等を行うための移動販売車等の購入に対して支援する。

(主体：丹後地域地場産業振興センター)

「地場産品見本市」開催〔継続〕【商工費】 130万円

京丹後市内で優良な地場産品を一堂に展示し広くPRするとともに、商談の機会を提供することにより販路拡大と販売促進、地産地消とブランド化に努め地場産業の活性化を図る。

(Tango Good Goods in 京丹後)

「丹後ブランド発信」事業〔継続〕【商工費】 262万円

丹後ブランドパイロット事業の成果等に基づき、丹後地域地場産業振興センターのネット通販事業と統合した地場産品の販売、総合的情報発信等のHPを作成する。

<自然環境の保全と創造>

「環境基本計画」策定〔新規〕【衛生費】 760万円

豊かな自然環境を保全し、まちづくりへの調和ある活用を図るため、市民、事業所と一体となり環境基本計画を策定する。

(平成19~20年度までの2ヵ年事業)

「ブナ林記念碑」建立等〔新規〕【衛生費】	257万円
ブナ林の保全を図るためシンポジウムを開催するとともに、京都府自然環境保全地域指定を顕彰し、観光資源としても活用するため、記念碑を建立する。	
<新しいエネルギーの導入と活用>	
「風力発電システム」設置経費〔継続〕【衛生費】	160万円
自然エネルギーの普及対策事業として、小型風力発電施設の設置に対して補助金を交付する。	
<循環型社会の構築>	
「未利用資源生ごみ利活用実証研究」事業〔継続〕【衛生費】	190万円
事業系生ごみを中心にバイオガス発電の原料として投入試験を実施するなど未利用資源としての利活用方策を研究する。	

## 【 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市 】

<市民主体の健康づくりの推進>	
「健康長寿のさとづくり」推進〔新規〕【衛生費】	62万円
高齢者の生きがいと健康長寿をキーワードに「蓬萊の郷づくり推進懇談会」とも連携し「(仮称)生きがい健康活動交流会」の実施など、健康長寿のさとづくりを推進する。	
「(仮称)支えあいの地域づくり推進会議」設置〔新規〕【民生費】	7万円
地域福祉計画の推進を図るため「(仮称)支えあいの地域づくり推進会議」を設置し、市民参画のもとに具体的な施策実施に向けた検討を行う。	
<患者本位の医療体制の充実>	
「市立病院事業会計」繰出金〔拡大〕【衛生費】	7億円
弥栄病院、久美浜病院の経営支援のための一般会計からの繰出金	



< 支えあい、助けあいの地域福祉の推進 >

「自殺予防」対策〔新規〕【衛生費】 202 万円

“自殺者ゼロ”のまちづくりを実現するため、自殺ゼロ実現推進協議会及び関係機関等と連携し、講演会・研修会を実施するとともに、市民への啓発も積極的に行う。併せて、専任の職員も設置する。

「災害時要援護者避難支援体制」整備〔新規〕【民生費】 15 万円

「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」に基づき、要援護者の避難誘導體制、関係機関の協力体制を検討・確立するとともに、地域の自主的な取り組みも支援する。

「峰山総合福祉センター前庭」整備〔新規〕【民生費】 130 万円

市民が憩える場所として利用できるよう峰山総合福祉センターの前庭を公園（ポケットパーク）化する。

< 共に生きる障害者福祉の充実 >

「障害者就労」支援〔新規〕【民生費】 516 万円

障害者の就労支援事業、知的障害者短期職場実習事業、障害者職場実習事業及び障害者雇用促進事業を実施し、障害者の自立と社会参加の促進を支援する。

事業効果

障害者：就労機会の確保、就労能力の向上、就労の可能性拡大など  
事業者：就労へ向けての取り組みへの期待など  
企業等：障害者就労の理解浸透、障害者雇用の普及・啓発など  
市の職場でも知的障害者の職場実習（研修）を率先して行う。

「障害者地域生活」支援〔拡大〕【民生費】 1 億 1,398 万円

障害者自立支援法等に基づき、相談支援、移動支援、地域活動支援センター事業、日中一時支援、福祉タクシー助成などの各種支援事業を実施する。（障害者相談支援専門員の設置など）

「共同生活援助(グループホーム)設置改修」補助金〔新規〕【民生費】 100 万円

社会福祉法人等が行う共同生活援助施設設置経費の一部を支援する

<安心して暮らせる高齢者福祉の充実>

- 「福祉有償運送事業」助成〔継続〕【民生費】 300万円  
京丹後市社会福祉協議会が実施する福祉有償運送事業が継続実施  
できるよう財政的な支援を行う。

**【 次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市 】**

<子育ての支援>

- 「ファミリーサポートセンター」創設〔新規〕【民生費】 29万円  
地域において子育ての援助を受けたい方と協力したい方が会員と  
なり、会員同士の子育てに関する相互援助活動の調整等を実施する。

- 「森の保育所」創設・活動推進〔新規〕【民生費】 21万円  
和田野保育所野間分園を「森の保育所」と位置付け、弥栄町内保  
育所へ通所する5歳児を対象とし、自然体験を中心とした保育活  
動をモデル的に実施する。

- 「保育事業者選定委員会」設置〔新規〕【民生費】 26万円  
平成18年度に策定した保育所再編等推進計画における保育所の  
社会福祉法人営化について、選定委員会を設置する。

- 「放課後児童健全育成」事業〔拡大〕【民生費】 3,274万円  
子育て支援事業として実施している放課後児童クラブの運営経費  
予算未措置ではあるが、平成19年度から希望の多い地域  
において、小学校施設を利用し新たに2カ所を開設予定  
長岡小学校（峰山町） 網野南小学校（網野町）

<学校教育の充実>

- 「学校情報化」推進〔新規〕【教育費】 5,135万円  
小・中学校の情報化を推進するため、計画的に機器整備等を実施  
するとともに、教員のIT指導力の向上も図る。

- 「網野中学校管理棟」改築経費〔拡大〕【教育費】 5億4,980万円  
老朽化が著しい網野中学校管理棟の改築経費  
（平成20年度への債務負担行為 1億2,000万円も設定）

「義務教育施設A E D」設置〔継続〕【教育費】	46 万円
平成 26 年度までに市内の全小・中学校に A E D を計画的に配置する。(H19 年度 小 4 台、中 1 台 リースにより設置)	
「地元農産物給食利用促進」支援〔継続〕【教育費】	248 万円
学校給食において地元産米(丹後産コシヒカリ)を使用し、地元農産物や農業・農村への関心を高めるために、購入費の一部を支援	
< 社会教育・スポーツの充実 >	
「図書館システム」統合〔新規〕【教育費】	2,699 万円
図書館システムを統合し、蔵書管理及び図書館サービスの向上を図る。(平成 19~20 年度の 2 カ年事業)	
「地域子ども教室活動」支援〔新規〕【教育費】	200 万円
子どもたちの居場所づくりや子どもの成長を支援する活動を地域で実施する団体等に対して補助金を交付する。(上限額 200 千円)	
「高齢者人材活用講座」開設〔新規〕【教育費】	30 万円
高齢者の優れた知識と技能を活かした地域活動を推進するとともに、高齢者の生きがいを高めるため、人材活用講座を開設する。	
< 歴史文化遺産の保全と活用 >	
「銚子山遺跡発掘」調査〔新規〕【教育費】	156 万円
網野銚子山古墳の墳丘裾に存在する周壕の範囲確認調査を実施する。(3 カ年の継続事業として実施予定)	
「郷土資料館日曜日」開館〔拡大〕【教育費】	54 万円
利用者の利便向上と資料館の有効活用を目指し、平成 19 年度から日曜日も開館する。 週 2 日(火・土) 週 3 日(火・土・日)へ	
「京丹後史文化財博士育成」講座〔継続〕【教育費】	10 万円
「京丹後史文化財博士」の育成講座を開設するとともに特別講座として講演会も開催し、文化財を活かしたまちづくりの推進を図る。	
「京丹後市史編さん」経費〔継続〕【教育費】	1,266 万円
「京丹後市史編さん」に向け各専門部会で調査・検討を進める経費	

## 【 共に築き、結び合う パートナースィップ都市】

### < 地域コミュニティの強化 >

「地域振興交付金」〔継続〕【総務費】 1億2,263万円

住みよい地域社会の実現へ向けて、各区へ交付金を交付し自治会活動の活性化を図る。

「地域振興基金」積立金（継続）【総務費】 2億円

市民の連帯及び均衡ある地域振興を図るため、合併特例債を活用し基金を積み立てる。（H19年度末見込み11億円）

### < 協働と共創のまちづくりの推進 >

「市民力活性化推進プロジェクト」補助金〔新規〕【総務費】 1,500万円

補助金全体をスリム化しつつ、広く市民の潜在力や市民活動の活性化・地域の活性化に貢献する活動を支援するため、補助金を改変・拡充し、幅広い活動を支援する。

（旧：まちづくり推進活動支援補助金）

「地域まちづくり」支援〔新規〕【総務費】 200万円

地区等の自発的な地域づくりを支援するため、「地域まちづくり計画」を策定するための経費を助成する。

「まちづくり基本条例」制定〔拡充〕【総務費】 42万円

市民協働のまちづくりを推進するため、市民団体等と意見交換しながら基本条例制定を目指す。（平成19年9月制定予定）

「地域まちづくり協議会」運営〔拡充〕【総務費】 313万円

「地域まちづくり協議会」として改称し、市民協働による地域の振興・発展のため、地域づくりの核となる組織として新たに運営する。

「市民協働のまちづくり事業」補助金〔継続〕【総務費】 1,800万円

各市民局に予算を配当し、市民協働のまちづくりの推進と地域活性化を支援する。

< 人権の尊重 >

「人権意識調査」実施〔新規〕【総務費】 236 万円  
人権に対する市民意識調査を実施する。  
(調査対象：無作為抽出 3,200 人)

「人権のつどい」開催〔拡大〕【民生費】 164 万円  
人権啓発事業として、京都府と共催により「人権のつどい」を実施する。

< 男女共同参画の推進 >

「女性センター（仮称）」設立〔新規〕【民生費】 14 万円  
男女共同参画社会の実現に向け、さまざまな人たちが出会い、集い、学ぶ場所として市役所丹後庁舎内に「女性センター」（仮称）を設置する。

「男女共同参画」推進〔継続〕【民生費】 184 万円  
女性専門カウンセラーの相談事業、女性問題アドバイザー養成講座開講など、男女共同参画社会実現に向けた施策を実施する。

< 国際交流と地域間交流の推進 >

「国際交流協会」設立〔新規〕【総務費】 18 万円  
国際観光の推進・外国からの観光客の受入れ、在住外国人のサポート等を推進するため国際交流協会を設立する。

「中国安徽省亳州市との観光・文化交流」〔拡大〕【総務費】 353 万円  
友好都市となった中国安徽省亳州市との交流を発展させるため、観光・文化交流を進めるとともに、このため京丹後市内でも「中国亳州市展」を開催する。

< 文化芸術活動の振興 >

「京丹後文化のまちづくり推進」補助金〔継続〕【総務費】 243 万円  
文化のまちづくりを推進する実行委員会の活動を支援する。  
「(仮称)市民でつくる第九コンサート」(H19.12.24 公演予定)

## 【 災害に強く快適で暮らしやすい うるおい安全都市 】

### < 適正な土地利用の促進 >

「都市計画マスタープラン」策定〔継続〕【土木費】 752 万円  
 京丹後市発展の基盤となる都市計画確立のため、そのマスタープランの策定を行う。(平成 16～19 年度の 4 ヶ年事業の最終年度)

「八丁浜シーサイドパーク」整備〔継続〕【土木費】 7,800 万円  
 平成 19 年度一部供用開始となる八丁浜シーサイドパークを引き続き整備する。 整備内容：植栽、園路、遊具施設など  
 (平成元～平成 20 年度の 20 ヶ年事業)

### < 道路ネットワークの整備 >

「鳥取豊岡宮津道路アクセス道路」都市計画調査〔新規〕【土木費】 700 万円  
 大宮峰山インターチェンジのアクセス道路の予備設計を実施

「踏切警告看板」設置〔新規〕【土木費】 221 万円  
 通行者の安全を確保するため、警報機未設置の踏切に警告看板を設置する。(13 ヶ所)

「緊急対応道路維持修繕」〔拡充〕【土木費】 600 万円  
 市道の緊急修繕に対応するため、各市民局長権限で執行可能な修繕経費を拡充する。

「道路改良」事業〔継続〕【土木費】 7 億 16 万円

道路改良(24 路線)	1 億 7,926 万円
辺地対策道路(3 路線)	9,553 万円
過疎対策道路(7 路線)	8,837 万円
地方道路臨時交付金事業(6 路線)	3 億 3,700 万円

### < 河川・海岸・港湾の整備 >

「河川改修」事業〔拡充〕【土木費】 2,200 万円  
 水害等から市民の生命及び財産を守るため河川等を改修する。(3 ヶ所)

< 住宅の供給と安心できる住環境の整備 >

「木造住宅耐震診断」経費〔継続〕【土木費】 56 万円

個人住宅の耐震改修について国の補助制度が創設されたことに伴い、前年度に引き続き耐震改修を前提とした個人住宅の耐震診断を行う。

「街なみ環境整備」事業〔継続〕【土木費】 7,531 万円

久美浜一区の伝統的な街なみの保存と道路美装化などの整備を行い、ゆとりと潤いのある住宅地の形成を図る。(H25 年度までの継続事業)

< 地域交通の確保 >

「網野駅バス停留所」整備〔新規〕【総務費】 100 万円

丹後海陸交通株の低額バス実証運行の利用促進事業の支援として、網野駅へのオリジナルデザインのバス停留所整備に対して補助金を交付する。

「甲山駅ホーム待合室」整備〔新規〕【総務費】 113 万円

プラットホームに待合室を設置し、駅施設の環境整備を行う。

「自治会貸与除雪機械」整備〔継続〕【土木費】 1,520 万円

自治会に除雪機械を貸与し、市域の除雪力向上と狭い道路での除雪にも対応可能とする。(乗用型 4 台、歩行型 4 台)

< 上下水道の整備 >

「網野都市下水路水位計・自動通報装置」設置〔新規〕【土木費】 300 万円

網野地域の都市下水路、浜河口に水位計を設置するとともに自動通報装置を設置する。

「網野地域内水処理対策」経費〔拡充〕【土木費】 3,000 万円

網野地域の総合的な内水処理対策を実施するための認可設計及び暫定対策工事を実施する。

「水道事業会計出資金」〔拡大〕【衛生費】 2 億 4,000 万円

広域給水事業を実施する水道事業会計へ合併特例債を活用して資金支援する。

< 消防・防災体制の強化 >

- 「アマチュア無線アンテナ」設置〔新規〕【消防費】 121 万円  
京丹後市アマチュア無線災害ボランティアとの災害時応援協定締結に基づき、網野、弥栄、久美浜の3庁舎に無線用アンテナを設置する。
- 「京都府防災訓練」実施〔新規〕【消防費】 516 万円  
平成 19 年度の京都府総合防災訓練が京丹後市を会場として実施されることとなったため、その実施に伴う訓練経費。
- 「自主防災組織等」支援〔拡充〕【消防費】 114 万円  
災害に強いまちづくりを推進するため自主防災組織の防災資機材整備等に対して補助金を交付するとともに、自主防災・防災リーダー養成講座を開設する。
- 「防災行政無線」整備〔継続〕【消防費】 3 億 4,166 万円  
防災行政無線の未整備地域にデジタルによる屋外拡声子局を整備し、平成 19 年度中の運用開始を目指すとともに、「全国瞬時警報システム」(J Alert) の整備も行う。  
(平成 20 年度は、戸別受信機の整備を予定)

< 地域情報化の推進 >

- 「ブロードバンドネットワーク」整備〔拡大〕【総務費】 3 億 2,302 万円  
都市部・市内地域間の情報格差を解消するため、光ファイバ網によるブロードバンド基盤を整備する。



## 【効率的な行政運営のための】

- 「市民満足度調査」実施〔新規〕【総務費】 73万円  
 行政評価の資料として活用するために市民満足度調査を実施する。  
 （平成19年7月実施予定）
- 「会社組織設立による高品質で効率的な行財政運営を考えるシンポジウム」  
 開催〔新規〕【総務費】 28万円  
 京丹後市総合サービス㈱の設立を記念し、先進成功市である愛知県  
 高浜市長をお招きし、会社組織設立による高品質で効率的な行財政  
 運営のあり方を考えるシンポジウムを開催する。  
 （平成19年5月開催予定）
- 「総合計画推進有識者会議」設置〔新規〕【総務費】 35万円  
 総合計画に基づく施策について、有識者からの助言を受け市域の活  
 性化等を推進させることを目的に専門会議を設置する。
- 「久美浜庁舎自家発電機」設置〔新規〕【総務費】 880万円  
 災害時に備え久美浜庁舎に自家用発電機を設置する。
- 「わかりやすい予算書」発行経費〔継続〕【総務費】 45万円  
 平成19年度一般会計予算を中心に市民向けへ予算説明するため  
 昨年に引き続き発行する。（H19.4月下旬発行予定、全戸配布）
- 「住民参加型市場公募債」発行事務経費〔新規〕【公債費】 209万円  
 市民協働のまちづくりを推進する手段の一つとして、住民参加型  
 市場公募債を発行するための事務経費  
     発行予定額    3億円  
     充当予定事業  ブロードバンドネットワーク整備事業  
     発行時期      平成19年11月下旬

特別会計、企業会計におきましては

【国民健康保険事業特別会計】

- ・保険財政共同安定化事業（新規） 6億8,488万円  
平成18年10月から施行された「保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業」の支払い国保連合会への拠出金が当初予算で皆増となった。

【簡易水道事業特別会計】

- ・宇川簡易水道施設改良事業 1億3,333万円
- ・三谷・馬地簡易水道事業石綿管布設替事業 2,000万円
- ・弥栄中央簡易水道施設整備事業 1億3,104万円
- ・久住簡易水道浄水場改良事業 2,420万円
- ・佐濃・田村簡易水道水源確保事業 5,100万円

【集落排水事業特別会計】

- ・佐濃南地区管渠布設事業 6,660万円
- ・和田野地区管渠布設事業 368万円

【公共下水道事業特別会計】

- ・公共下水道処理場建設事業（峰山・網野） 7億2,700万円
- ・公共下水道管渠布設事業（峰山・網野） 5億3,850万円
- ・特定環境公共下水道処理場建設事業（橘） 1億6,160万円
- ・特定環境公共下水道ポンプ場建設事業（久美浜） 6,800万円
- ・特定環境公共下水道管渠布設事業（大宮、橘、丹後、久美浜） 6億9,440万円

【浄化槽整備事業特別会計】

- ・久美浜地域の浄化槽整備事業 4,021万円

【水道事業会計】

- ・小浜浄水場改良工事（網野） 4億4,950万円
- ・中央浄水場改良工事及び送水管整備（大宮） 8,300万円